

クラス番号	341	担当教員名	伊藤 大介
		他専修学生受入上限人数	1名
テーマ	科学的根拠に基づくコミュニティソーシャルワーク実践 ～目の前の「人」とその人が暮らす「地域」を支える～		

## ゼミナール概要

### 目的

目の前の一人の「人」を支える個別支援、その人が暮らす「地域」を支える地域支援、さらには両者の連関を理解し、科学的根拠に基づいてソーシャルワークを行える人材を目指します。

### 考え方

その1：ソーシャルワークの目的は、人々の Well-being の向上です。一人の「人」の生きがいや安心を支える力が、ソーシャルワーカーには不可欠です。ただし、人の人生・生活は、個人要因だけでなく、過去から現在に至る環境要因との相互作用によっても規定されます。よって、個人を理解し、個人に働きかける力と同時に、地域を理解し、地域に働きかける力も求められます。

その2：「支援に正解はない」という言葉を耳にしますが、その時代・状況における「最適解」はあるはずです。最適解は、既存の知見を総動員して導き出される、「良い結果を得られる確率が最も高い支援」と言い換えられます。最適解で支援するために、ソーシャルワーカーには科学を扱う力（少なくとも研究結果を読み解く力）が求められます。

### 内容

主に高齢者分野のトピックを取り上げますが、学生の関心次第では障がい者分野まで広げます。学生が自分の関心や問題意識を整理し、(将来)解決したい課題を見定め、研究テーマを設定できるようにしたいと考えています。そのために、どのようなゼミ活動が必要かをゼミ内で話し合って決めます。

### 授業計画

3年次前半：卒業論文執筆の土台になる「読む」「書く」力を高めます。個人・グループ単位での報告とディスカッションが主です。

3年次後半：研究テーマを決め、文献をレビューしてレポートを作成します。学生の希望と受け入れ先がマッチすれば、フィールドワークも検討します。

4年次：秋までに卒業論文を完成させ、その後は国家試験対策に取り組みます。

### 担当教員からのメッセージ

**自己紹介**：地域包括支援センターや社会福祉協議会などでソーシャルワーカーとして働いていました。資格は、社会福祉士、介護支援専門員（ケアマネジャー）を持っています。研究は、量的研究（統計的手法を用いた分析）を中心に行ってききましたが、質的研究をしたい学生も歓迎します。

**エントリーシート**：①現時点で希望する将来の進路と、②その進路を希望する理由について、自分の関心や問題意識を交えて詳しく書いてください。

**ゼミについて**：社会福祉士の取得を目指し、現場でソーシャルワーカーとして働きたい学生に適した内容となっています（※分野は問いません！）。